

2025年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
運動学 1											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	後藤勝正			実務経験	無	職種					
授業概要											
基礎力学や身体の動きや歩行のメカニズムを学びます。											
到達目標											
柔道整復の特性を考慮して、骨・関節・筋の構造と機能に重点をおきつつ、運動学による姿勢や歩行の評価を学ぶことで医療現場における患者への指導管理の土台を形成することを目標にしている。											
授業方法											
人間の身体運動を科学的に研究する学問分野である運動学を学ぶことで、運動障害をもつ患者を診て施術を行うための、人間の運動にかかわる身体の機能と構造についての基本的な知識を備える能力を育成する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書は「運動学」を持参する。必要に応じて資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	運動学とは（身体運動と力学①）										
第2回	運動学とは（身体運動と力学②）										
第3回	運動学とは（身体運動と力学③）										

2025年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
運動学 1	
第4回	運動学とは（身体運動と力学④）
第5回	骨・関節・筋の構造と機能（各基本構造・構成成分・発生と成長や分類）
第6回	神経の構造と機能運動感覚（神経細胞・末梢神経・中枢神経）
第7回	反射と随意運動①（反射運動の特徴と反射の種類）
第8回	7回までの振り返りと確認演習
第9回	反射と随意運動②（連合運動と共同運動や随意運動）
第10回	姿勢①（姿勢の分類、重心）
第11回	姿勢②（立位姿勢）歩行①（歩行周期）
第12回	歩行②（歩行の運動学的分析や運動力学的分析）
第13回	歩行③（歩行時の筋活動・エネルギー代謝や異常歩行）
第14回	13回までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ